

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）対策について（まとめ）

【要旨】

マダニ媒介性の重症熱性血小板減少症候群（SFTS）は、2013年1月に国内の患者が初めて確認された新興ウイルス感染症である。患者の発生した自治体は、九州・四国・中国・近畿地方の13県（兵庫、島根、岡山、広島、山口、徳島、愛媛、高知、佐賀、長崎、熊本、宮崎及び鹿児島県）である。ウイルス保有マダニは、患者が報告されていない地域（三重、滋賀、京都、和歌山、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、栃木、群馬、岩手、宮城県、北海道）においても確認された。調査で判断できなかった3自治体（福岡、熊本、福島県）を除くと、調査した全ての自治体でSFTSウイルス遺伝子を持つマダニが見つかったことから、SFTSウイルス保有マダニは調査していない自治体を含めて国内に広く分布していると考えられる。

西日本を中心にこれまで計173人（感染症法4類指定前に発症の4人を含む）の患者発生と死亡47人が報告されている（27年新規発生56人）。東日本では症例の経験がないことから、多発県でのSFTS発生時の保健所の対応や衛生研究所との連携について調査し、全国保健所長会として、未発生の保健所への情報提供をする。地域住民と医療機関への啓発活動が重要である。

【方法】

会議（平成27年7月14日、同年11月4日、平成28年2月1日）を開催し、先進県の取り組みと、成果について分析し、発生時の対応の啓発活動について、資料の収集をおこなった。

【結果】

1. 先進県での取り組みについて

(1) 山口県での取り組み

ア 情報のとりまとめ

山口県におけるSFTS対策の取組 県の環境保健研究センター内に感染症情報センターが設置され、そのホームページ内に下記の情報が公開されています。

（国内患者発生情報については随時更新）

- ・重症熱性血小板減少症候群（SFTS）

http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/page9/sfts_1.php

- ・ダニ媒介性疾患の予防について

http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/page9/dani_1.html

イ 県の対応

- 1) 症例の周知等

- ・国の通知(平成 25 年 1 月 30 日)を受け、関係機関(県医師会、病院、保健所、市町、庁内関係課)に情報提供を行うとともに、医療機関に対して、同様の患者を診察した際には情報提供するよう要請
 - ・県ホームページに症例の発生に関する情報を掲載(平成 25 年 1 月 30 日)
- 2) ダニ予防策の周知・啓発
- ・県ホームページに掲載(随時更新)
 - …ダニ予防のページ・SFTS のページ(上記)
 - ・健康福祉センター及び市町を対象とした研修会を開催(2回)

内容(1回目): 県感染症担当による対策の概要説明、環境保健センター職員による「ダニとダニ媒介性疾患」講義

内容(2回目): 講演「マダニの生態とマダニ媒介性感染症の特徴について」
 講師 山口大学共同獣医学部病態制御学講座 高野愛准教授
 講演「重症熱性血小板減少症候群と感染症リスク対策」
 講師 山口県環境保健センター 調 恒明 所長
- 3) リーフレット作成〔12万部(初版4万部、改訂版8万部)〕
- …各健康福祉センター、市町、医療機関、スーパー、コンビニ等に配架
 農林部関係団体、猟友会、学校等に配布
- 4) 各市町の広報誌に掲載
- …H25: 13市町、H26: 6市町、H27: 4市町
- 5) 広報、注意喚起
- ラジオ(H27年4月)、県広報誌「ふれあい山口」(H27年3月号) 県政テレビ(H26年4月)、新聞紙面広告(H26年4月)で注意喚起
- 6) その他: 県庁1階パネル展示で啓発(H27年5/11~5/19)

ウ 医療対策

医療関係者向けの研修会を開催(平成25年3月9日約150名)

- ① 西條部長(感染症研究所)

「新興ウイルス感染症と重症熱性血小板減少症候群」
- ② 馬原院長(馬原医院)

「ダニ媒介性疾患の臨床～特に日本紅斑熱とつづが虫病について～」
- ③ 高野准教授(山口大学共同獣医学部)

「マダニの生態とSFTSとの鑑別が必要なダニ媒介性疾患について」

エ 接触者調査(平成25年7月)

- ・1例目の医療機関の従事者31名を対象に接触者調査(抗体検査)を実施
- ・抗体検査は全員陰性、患者からの感染を受けた者はなし
- ・調査概要は、病原微生物検出情報(IASR)同年9月26日に掲載

(2) 宮崎県での取り組み

ア 情報のとりまとめ

宮崎県の衛生環境研究所内に感染症情報センターが設置され、そのホームページ内に宮崎県感染症週報の情報が公開されている。

<http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/fukushi/eikanken/center/infectious/2016/index.html>

イ 県の対応

1) 症例の通知等

- ・国の通知（平成 25 年 1 月 30 日）を受け、関係機関（県医師会、病院、保健所、衛生環境研究所）に情報提供を行うとともに、医療機関に対して、同様の患者を診察した際には情報提供するよう要請

2) ダニ予防策の周知・啓発

- ・県ホームページに掲載（随時更新）
重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関するお知らせ

<http://www.pref.miyazaki.lg.jp/kansensho-taisaku/kenko/hoken/page00173.html>

- ・庁内関係課に啓発依頼「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に係る注意喚起について（依頼）」（平成 26 年 5 月 20 日）（平成 27 年 5 月 1 日）

3) リーフレット作成

- ・「マダニに注意！」
- ・「マダニによる感染症に注意しましょう！」

4) 各市町の広報誌に掲載

5) 広報、注意喚起

ラジオ（平成 26 年 6 月）、県政テレビ（平成 26 年 7 月、平成 27 年 4 月）、新聞紙面広告（平成 25 年 6 月、平成 26 年 6 月）、県広報誌「広報みやざき」（平成 26 年 8 月号）

ウ 医療対策

医師、看護師、保健所職員向けの研修会を開催（H27.11.12 約 300 人参加）

「日本におけるダニ媒介性ウイルス感染症の流行：TBEとSFTS」

国立感染症研究所ウイルス第1部部长 西條政幸 先生

(3) 愛媛県での取り組み

- ・重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の注意喚起について

更新日：2015 年 4 月 27 日

<https://www.pref.ehime.jp/h25500/sfts/sftsattention.html>

- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の発生状況 更新日：2015年10月30日

<https://www.pref.ehime.jp/h25115/kanjyo/topics/sfts/index.html>

- SFTS リーフレット

https://www.pref.ehime.jp/h25500/sfts/documents/h27_ehime_sfts.pdf

2. 国の情報提供

- 厚生労働省 SFTS について 平成 26 年 2 月 25 日

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/sfts.html>

- 国立感染症研究所 SFTS とは

感染症発生動向調査で届出られた SFTS 症例の概要

（次回の更新は 2 月 2 日となります）（2016 年 1 月 6 日現在）

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/diseases/sa/sfts.html>

- 国立感染症研究所昆虫医科学部

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関連して、一般の方向けのマダニ対策に関するパンフレットを作成致しました。

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/sfts/2287-ent/3964-madanitaisaku.html>

【考察】

愛媛県の場合、医療機関と地域住民への啓発の結果、27 年度（2 月末現在）の患者発生は 1 例（死者無し。25 年 9 例、26 年 11 例）となった。

全国では、25 年 43 例、26 年 50 例、27 年 59 例と増加中であり、今後も対策が重要である。